

施策評価シート （評価対象年度：平成30年度）

1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	3 施設・設備の充実	② 施策番号	1406
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	1 災害や事故に対してその被害を最小化できる安全なまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	2 消防・救急体制の充実		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
総合政策部	危機管理課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	泉南市消防団及び泉南市民(泉南市内在勤、在学者を含む)
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	消防団資機材格納施設や消防団車両、消火栓等を適切に維持管理することにより、火災等の災害発生時における迅速な消防活動につなげることで、被害の拡大を防止することで、市民の生命及び財産を守る。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	平成25年度に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が施行され、地域防災における消防団の担う役割は益々重要となり、諸活動に必要な消防資機材の確保について規定されている。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 泉南消防署消防車両台数 計算式	台	消防特殊車両の適正な配置により複雑・多様化する災害や事故等への効果的な現場対応が可能となる。
② 消火栓設置数 計算式	箇所	消火栓の適正な配置により、迅速・効果的な消火活動が可能となる。
③ 計算式		

	指標名	単位	実績					R2目標	備考
			H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標		
①	消防団車両台数	台	目標値						
			実績値	13	13	13	—	—	
			達成率						
②	消火栓設置数	箇所	目標値						
			実績値	1,055	1,055	1,058	—	—	
			達成率						
③			目標値						
			実績値						
			達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価	今後の方向性	
1	消防団施設等管理事業	消防団車両台数	台	13	13	13	7,546	30,755	6,309	A	ア	◎
2	消防水利整備事業	消火栓設置数	箇所	1,055	1,058	1,058	2,223	2,302	3,297	A	ア	○
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	2						9,769	33,057	9,606			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのよう貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	消防活動に必要な資機材及び設備等の適切な維持管理により、迅速で効果的な消火活動及び災害対策活動を行うことができる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	各消防分団への消防ポンプ車等の配備や市内各所に消火栓を設置することにより、迅速かつ効果的な消火活動を行うことができる。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	消防団の運営や消防施設・設備等の維持管理は、消防法等に基づく市の責務である。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	消防資機材や施設、設備等の維持管理は適切に行われている。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	火災や災害発生時において、消防団の速やかな出動及び効果的な消火活動が実施できるよう、計画的な消防車両や資機材等の更新やメンテナンスを行っていく必要がある。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	B	火災やその他災害が複雑・多様化する中で、さらなる消防資機材の新規導入、更新、整備等が必要になると考えられる。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	消防団員の緊急出動に万全を期するため、消防車両や資機材の点検を徹底する。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	長期間にわたって使用している消防車両や資機材について、経年使用により損傷、損耗しているものについての更新計画を検討する。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	長期間にわたって使用している消防車両や資機材について、経年使用により損傷、損耗しているものについての更新計画により、更新を実施していく。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	B	消火設備の適切な維持管理が行われている。引き続き消防車両や資機材の更新にあたっては計画的に取組を進められたい。	